



つくしぐみだより

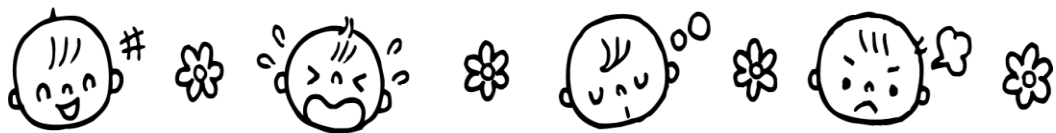
2018年 3月 第5号

花のつぼみも膨らみ始め、晴れた日の日差しが少しずつ春を感じる季節となりました。友達同士で遊んでいる姿を見かけると、1年の成長の早さを感じています。残り少ないつくしぐみでの生活。いろいろな発見をし、沢山のふれあいを通して、楽しく元気に過ごして行きたいと思います。



おしっこでたよ

月齢の大きいお友達には、午睡後、おむつ交換をする時、無理なくオマルに座っています。座るのを嫌がって泣いてしまう子には、『今度座ろうね』と声掛けをしています。ずっと座っていたくて交換するのを嫌がったり、目覚めてすぐに、布団から走ってきてオマルに喜んで座るお友達もいます。タイミングが合い、おしっこが出るとオマルの中を覗きこみ、とても嬉しそうな顔をしています。『出たね・すごいね』と褒めてあげると『出たよ』と言わんばかりに何度もオマルを指さしています。まだ、始めたばかりなので、無理せずオマルに慣れてくれればと思っています。



つくし春夏秋冬



【春】6人でスタートしたつくしぐみ。どの子も初めての園生活です。スキンシップを大切に、抱っこやおんぶで愛情いっぱい触れあう中だんだん笑顔が見られるようになりました。初めての運動会では沢山の観客に驚いていましたが、楽しそうな表情も見られました。

【夏】園生活にも慣れ お友達も増えてきました。少しずつ歩ける子が増えてきて活動範囲も広がり、いろいろな物に興味が出てきました。暑い日が続きましたが、水遊びや沐浴をして気持ちよく過ごしました。



【秋】戸外遊びが大好きで、滑り台を何度も滑ったり、乗用玩具に乗ったり、砂場でお友達と一緒にままごと遊びを楽しんでいました。散歩では、保育士と手を繋いで歩いたり、ベビーカーや避難車に乗って小動物をみたり草花に触れたりしました。



【冬】クリスマス会では、堂々とステージの上で大好きな太鼓を叩き、楽しそうに「むすんでひらいて」を踊り、元気いっぱいに発表する事が出来ました。園庭の雪をみんなで見て、触って冬の遊びも沢山の体験しました。

この頃の子ども達は何でも自分でやりたくて、ズボンを履いたり、こぼしながら自分でスプーンを使い、給食を食べたりと積極的です。階段も「いち・に・いち・に・・・」とみんなで声を掛けながら上り下りが上手になってきています。1年を通しての成長に驚かされます。そして、「せんせい」と呼んでくれる事がとても嬉しく感じる毎日です。子ども達からの沢山の笑顔に私たち担任は癒されています。保護者の皆様には、沢山のご協力をいただき、本当にありがとうございました。